

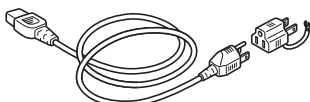


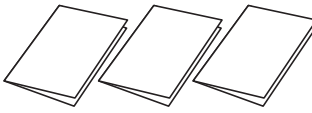
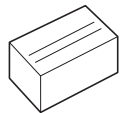
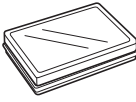
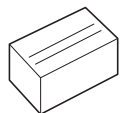
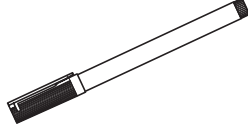
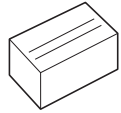
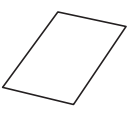
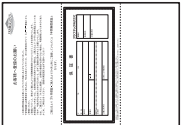
セットアップマニュアル

本冊子はセットアップ手順を説明しています。各機能の詳細は、付属DVD収録の取扱説明書(PDF)をご覧ください。

付属品の確認

全ての付属品が揃っているかご確認ください。万一、付属品の不足がありましたら、ご購入先または当社カスタマーセンターまで直ちにご連絡ください。

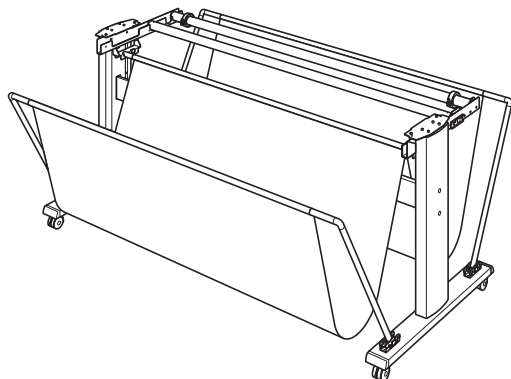
付属品

電源ケーブル・2極-3極変換アダプタ 1セット	USBケーブル 1本
	
DVD (各種ソフトウェア/取扱説明書(PDF)) 1枚	セットアップマニュアル、安全にお使いいただくために、カッター刃に関する説明書 各1冊
	
カッターブランジャ(PHP33-CB09N-HS) 1本	カッター刃CB09UB(1P) 1本
	
水性ファイバーペンアダプタ(PHP31-FIBER) 1式 (ブランジャ/高さ調整ツール)	水性ファイバーペン(KF700-BK[1P]) 1本
	
カッター刃調整用ルーペ(PM-CT-001) 1個	Software Activation Code 1枚
	
保証書 1枚	
	

※その他、各種案内が添付される場合があります。
※販売地域により、付属品が異なる場合があります。
※詳しくは、販売店にご確認ください。

専用付属品

スタンド(バスケット付)が付属しています。
※専用付属品が異なる場合があります。



ドライバ/ソフトウェアのインストール

ドライバ/ソフトウェアの最新版とインストール手順は、以下に公開しています。

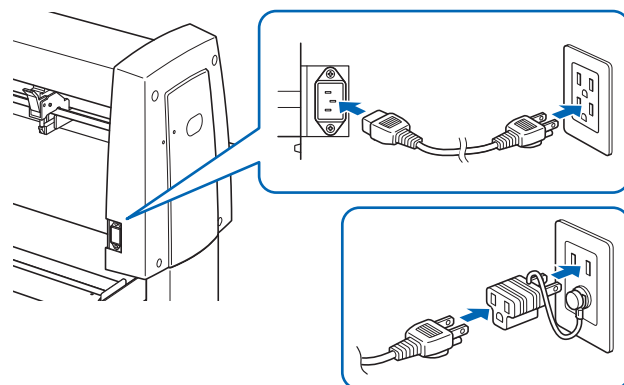
http://www.graphtec.co.jp/site_download/index.html

必要に応じてダウンロードしてください。

- Windowsドライバ(インストール前に、本機とコンピュータを接続しないでください)
- Graphtec Pro Studio(Windows)
- Cutting Master 4(Windows/Mac)
- Graphtec Studio(Mac)

電源の接続

電源スイッチがオフ(○側)になっていることを確認して、本機の電源コネクタと規定電圧のACコンセントを付属の電源ケーブルで接続します。3ピンのコンセント以外の場合は、2極-3極変換プラグを用いて、アースをコンセントのアース端子に接続します。

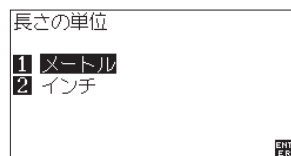


初回セットアップ画面

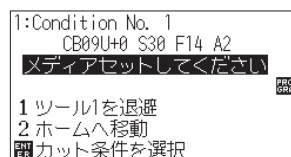
最初の電源投入時のみ、初回セットアップ画面が表示されますので、「表示言語」と「長さの単位」を選択します。電源スイッチをオン(側)にすると、バージョン表示後にメッセージを表示します。



言語(日本語)を選択して[ENTER]キーを押します。



長さの単位を選択して[ENTER]キーを押します。



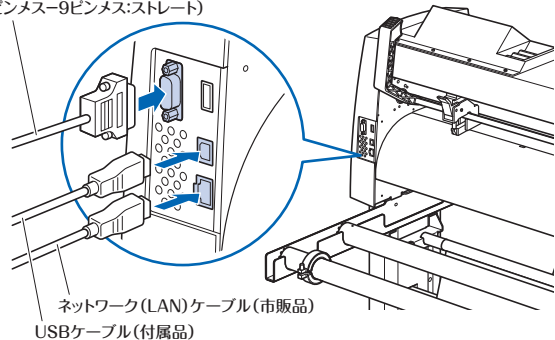
基本画面になります。

コンピュータとの接続

本機とコンピュータをご使用のインタフェースケーブルで接続します。ご使用可能なインタフェースはUSB/ネットワーク/RS-232C(販売地域によります)のいずれかとなります。

※接続する前に、ドライバ/ソフトウェアのインストールを行ってください。

RS-232Cケーブル(市販品)
(9ピンメス-9ピンメス:ストレート)



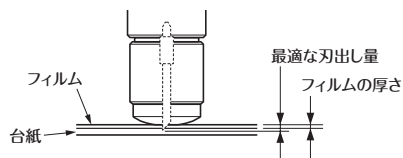
ネットワーク(LAN)ケーブル(市販品)
USBケーブル(付属品)

カッタープランジャの準備

本機では、カッター刃をカッタープランジャにセットして使用します。カッタープランジャ付属の取扱説明書を参照して、カッター刃をカッタープランジャにセットしてください。

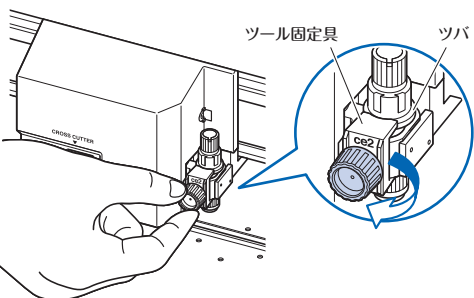
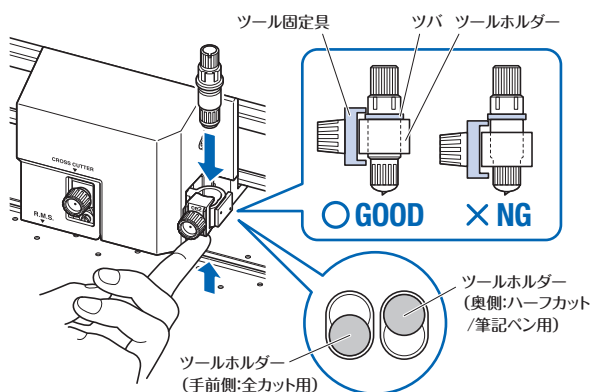
刃出し量の調整

カッタープランジャ付属の取扱説明書を参照して、メディアに合わせて刃出し量を調整してください。一般的なカティング用シートの場合、フィルムと台紙を合わせた厚みより少なく、フィルムの厚さより多い刃出し量が最適です。フィルム等の薄いメディアを使用する場合は、付属のルーペを使用して調整してください。(取扱説明書を参照してください。)



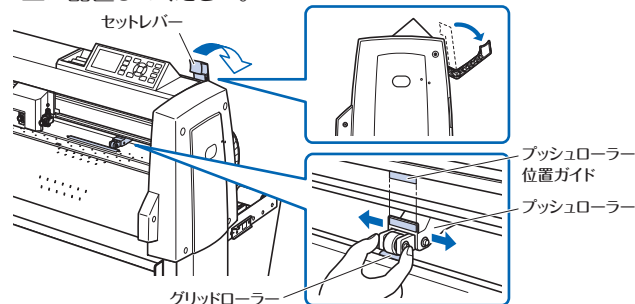
ツールの取り付け

ツールホルダーのネジを緩め、ツールホルダーを上押ししながら、ツールホルダーの上面に突き当たるまでツール(プランジャ)を完全に押し込んでください。ツールのつば部分を覆うようにツール固定具をセットし、ネジを締めてください。



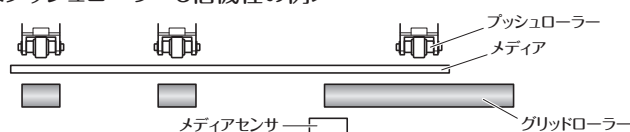
プッシュローラーのセット

メディアセットレバーを下げ、プッシュローラーを上げます。メディアの幅に合わせて、左右のプッシュローラー位置を調整します。ローラー位置ガイドを目標として、プッシュローラーはメディアの両端かつ右のプッシュローラーは一番右の幅の広いグリッドローラー上に配置してください。



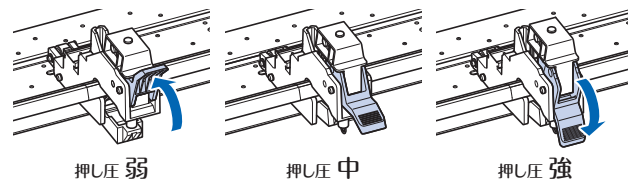
3つ以上のプッシュローラーがある機種では、両端以外のプッシュローラーもグリッドローラー上に配置してください。

<プッシュローラー3個機種の例>



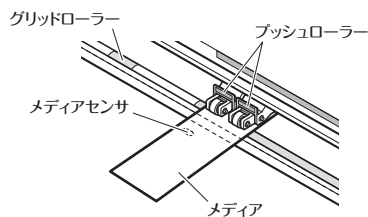
プッシュローラー押し圧の設定

プッシュローラー押し圧切り替え機構のある機種では、プッシュローラー圧を左右で揃えてください。各プッシュローラーの押し圧設定について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

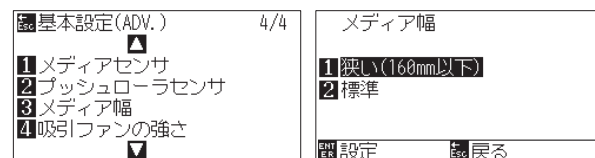


幅狭メディア(160mm以下)の場合

一番右の幅の広いグリッドローラーを使用し、メディアがメディアセンサーにかかるようにしてください。

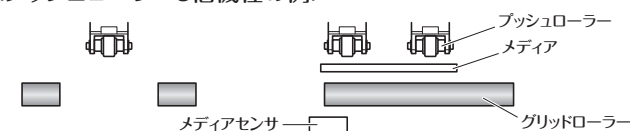


3つ以上のプッシュローラーがある機種では、右側2個のプッシュローラーを使用し、「MENU」-「基本設定」-「メディア幅」を「狭い」に設定してください。



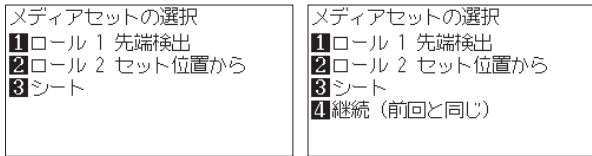
3個目以降のプッシュローラーは押し圧を弱に設定し、グリッドローラー上でない位置にしてください。

<プッシュローラー3個機種の例>



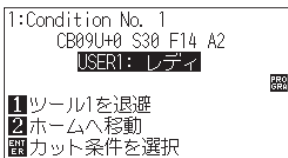
メディアセットの選択

メディアをセットしてメディアセットレバーを上げ、プッシュローラーを下げます。セットしたメディアの種類に合わせてメディアの種類を選択します。



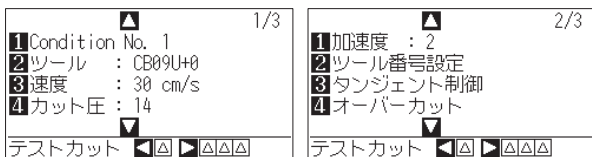
- 1** ロール 1 先端検出：
メディアの先端からカットします。メディアの幅と先端を検出します。
- 2** ロール 2 セット位置から：
セットした位置からカットします。メディアの幅のみ検出します。
- 3** シート：
シートメディアをカットします。メディアの幅・先端・後端を検出します。
- 4** 継続 (前回と同じ)：
一度メディアをセットした後に再度メディアセットレバーを上げ下げしたときに表示します。前回の作図範囲とツール位置が維持されます。

メディア検出後、レディ画面になります。



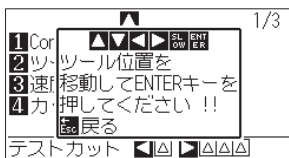
カット条件の設定

[COND/TEST] キーを押してカット条件を設定します。設定項目にはツール／オフセット／速度／カット圧／加速度があります。各設定項目について詳しくは取扱説明書をご覧ください。



テストカット

カット条件設定画面で[◀]キーを押し、テストカットします。



テストカットの結果を確認し、最適な設定になるように速度／カット圧／加速度を調整します。一般的なカッティング用シートの場合、台紙に薄く切り跡がつく程度にします。また、三角形や四角形の角を確認し、角がきれいに切れるようにオフセットを調整します。

オフセットのチェック方法

オフセット量が正しく設定できているかどうかを、以下を参考にチェックしてください。



角が丸まっている：
補正量が不足しています。オフセット値を上げてください。



角がきれいに切れている：
適正なオフセット値です。



角が髭の様に出っ張っている：
補正しすぎです。オフセット値を下げてください。

データ出力

アプリケーションからデータを出力し、メディアをカットします。

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談、ご用命は以下で承ります。

グラフテック株式会社 カスタマーセンター
ナビダイヤル：0570-016262

IP電話等ご使用の場合、繋がらないことがあります。
その際は、045-825-6382 におかけください。

E-Mail:graphcs@graphtec.co.jp